

授業科目名	航空知識Ⅱ						
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース						
担当教員	塚本 裕作・稲葉 ひより						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		2	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	実際に空港で働くプロフェッショナルからの授業を通じて、空港での業務内容を理解するとともに、空港業務で起こり得るシチュエーションをイメージしディスカッションを行うことで想像力、実践力・対応力を身につけます。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業 ○	フィールドワーク	
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク ○	ロールプレイ	
	プレゼンテーション ○		PBL		模擬授業	その他	
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	オリエンテーション					
	3～4	航務基礎			① 航務業務全般を理解できる		
	5～6	航務応用			② ランプ業務全般を理解できる		
	7～8	ランプ基礎			③ 給油業務全般を理解できる		
	9～10	ランプ応用			④ 旅客業務全般を理解できる		
	11～12	鈴与エアポートサービス顧問講話			⑤ 航空業務で必要となる、安全品質について深く理解できる		
	13～14	前期確認テスト			⑥ ディスカッションを繰り返すことで、協調性やチームワークとは何か理解出来る		
	15～16	過去の事故を知ろう			⑦ 航空機事故を知り、安全とは何か考え、理解できる		
	17～18	安全とは何か話し合う			⑧ 各分野で使用される航空用語を理解できる		
	19～20	プレゼンテーション					
	21～22	給油基礎					
	23～24	給油応用					
	25～26	旅客基礎					
	27～28	旅客応用					
	29～30	科目終了試験					
成績評価方法	平常点（50％）前期確認テスト（20％）科目修了試験（30％）						
使用テキスト ／教材	教員作成資料						
関連科目	航空知識Ⅰ、グランドハンドリング概論						
その他							

授業科目名	異文化ホスピタリティ						
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース						
担当教員	松永 清美・平野 広幸						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		2	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	異文化を理解し、航空業界はもとより社会人として文化の差異を尊重しながら仕事に活かせるようになることを目標とします。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	<input type="radio"/>	フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション	<input type="radio"/>	PBL		模擬授業		その他
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	異文化とは			①異文化を理解し、視野を広げる ②様々な国の特徴を知り、自国について再認識する ③自分自身の考え方や価値観を明確にする ④異文化理解に基づきサービスを創造できる ⑤宗教についての基本的な知識を学習する ⑥働く場面を想定し、日本との文化的相違を認めて向き合う力を身に付ける ⑦プロトコールに基づいたサービスができる ⑧考えや文化の違う人とのかかわりについて学ぶ		
	3～4	自国について					
	5～6	様々な国の比較					
	7～10	自分の価値観を知る					
	11～14	世界の宗教					
	15～20	異文化理解					
	21～26	基本のプロコトール					
	27～30	異文化を知り、多文化共生を考える					
成績評価方法	提出物（レポート・制作物等）（50％）平常点（50％）						
使用テキスト ／教材	講師オリジナルプリント						
関連科目							
その他							

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	エアライン英語Ⅱ						
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース						
担当教員	松永 清美・関根 由美子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修	60	4	
授業目的 到達目標	エアライン業界への就職に必要なTOEICのスコア600点以上の取得と自己最高得点を目指します。生活や就職先で即戦力として使えるフレーズを習得します。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 <input type="radio"/>		反転授業 <input type="checkbox"/>		調査授業 <input type="checkbox"/>		フィールドワーク <input type="checkbox"/>
	双方向アンケート <input type="checkbox"/>		ペアワーク <input type="radio"/>		グループワーク <input type="radio"/>		ロールプレイ <input type="radio"/>
	プレゼンテーション <input type="checkbox"/>		PBL <input type="checkbox"/>		模擬授業 <input type="checkbox"/>		その他 <input type="checkbox"/>
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～6	授業説明・模擬テスト（解答・解説）			①TOEIC各パートの特徴を理解し、基礎的な総合力を高める。 ②英語の音声に近い発音の習得をする ③聴解力を高める ④実際に現場で使えるフレーズや単語を身につける ⑤目標の設定と自己最高点を目指すための課題を把握する ⑥アクティブラーニングを取り入れ、学ぶことに主体性を持つ ⑦時間配分の習得をする		
	7～12	Unit1～2					
	13～18	Unit3～4					
	19～24	Unit5～6					
	25～30	Unit7～8					
	31～32	TOEIC模試（解答・解説）					
	33～38	Unit9～10					
	39～44	Unit11～12					
	45～50	Unit13～14					
	51～58	Unit15・総復習					
	59～60	科目修了試験					
成績評価方法	平常点（50％）授業内小テスト・科目修了試験（50％）						
使用テキスト ／教材	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST INTERMEDIATE はじめてのTOEIC L&Rテスト ハーフ模試3回分 TOEIC L&Rテストレベル別問題集 600点突破 FAST PASS FOR THE TOEIC L&R TEST、キクタンTOEIC (R) L&RテストSCORE 500						
関連科目	エアライン英語Ⅰ						
その他	レベルに応じて2クラス編成。電子辞書、または英和辞典を持参すること。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	ユニバーサルサービス							
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース							
担当教員	阪本 知恵 ・ 松永 清美							
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位		
演習	・ 講義	2	通年	必修	60	2		
授業目的 到達目標	多様な方々へ向き合うためのマインドと正しい知識を習得し、お手伝いが必要なお客様への気配りや介助方法を学びます。							
授業手法	・ 対面	○	・ 遠隔		・ 対面/遠隔		・ オンデマンド	
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク	○
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ	○
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他	
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標		
	1～4	合理的配慮				①合理的配慮について理解する ②ユニバーサルサービスについて理解する ③車いすの操作・介助が出来るようになる ④視覚障がい者の状況が理解できる ⑤視覚障がい者の介助が出来るようになる ⑥航空会社の対応を知り、安心と安全に繋がる正しい介助方法を身に付ける ⑦高齢者について理解し、介助が出来る ⑧多様性の理解を深める		
	5～8	ユニバーサルサービス						
	9～14	視覚障害者の状況と介助						
	15～16	航空会社の合理的配慮						
	17～22	車いす使用者への介助方法						
	23～30	外部実習予定						
	31～36	高齢者について						
	37～44	高齢者介護施設実習 準備						
	45～52	高齢者介護施設 実習						
	53～56	聴覚障害について・実技復習						
	57～58	総復習						
	59～60	授業内確認テスト						
成績評価方法	授業内確認テスト（50％）平常点（50％）							
使用テキスト ／教材	オリジナルテキスト・「ユニバーサルサービス」 接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト							
関連科目	手話演習Ⅰ							
その他	※サービス介助士資格保有教員が担当							

授業科目名	手話演習Ⅱ						
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース						
担当教員	田宮 裕乃						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
	・ 演習	・ 講義	2	通年	必修	60	2
授業目的 到達目標	手話演習Ⅰから学んでいる手話奉仕員養成講座を修了して手話奉仕員資格を取得します。様々な場面でろう者と手話で会話ができ、手話で接客できる力を身につけます。						
授業手法	・ 対面	○	・ 遠隔		・ 対面/遠隔		・ オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業	○	調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1～2	オリエンテーション・講義「ボランティア活動」				①手話文法を理解する ②CL表現ができるようになる ③RSを理解する ④手話で話す際のマナーを知る ⑤障害者福祉の基礎を身につける ⑥ろうあ運動・福祉制度について理解する ⑦手話検定3級レベルの技術を身につける	
	3～20	第21講座～第29講座					
	21～22	第21講座～第29講座 まとめ（ゲスト講師）					
	23～26	講義「障害者福祉の基礎」と文法まとめ①					
	27～30	講義「ろうあ運動ときこえない人に関する福祉制度」と文法まとめ②					
	31～46	第31講座～第38講座					
	47～48	第39講座「手話スピーチ」					
	49～50	第40講座「ろう者とディスカッション」ゲスト講師					
	51～52	手話奉仕員テキスト総まとめ					
	53～56	手話検定3級単語学習					
	57～58	手話検定3級筆記試験対策					
	59～60	手話検定3級実技試験対策 ゲスト講師					
成績評価方法	平常点（20％）小テスト（40％）レポート（20％）ホームワーク（20％）						
使用テキスト ／教材	手話奉仕員養成養成テキスト・「手話を学ぼう 手話で話そう」 手話奉仕員養成のための講義テキスト（発行：社会福祉法人全国手話研修センター） 講師作成プリント						
関連科目	手話演習Ⅰ						
その他	授業の前に必ず動画視聴をし、講座終了後は動画内のホームワークを実施すること。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	客室実習Ⅱ						
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース						
担当教員	阪本 知恵						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	客室実習Ⅰで身につけた基礎を土台に、イレギュラーやクレーム対応など多様な場面に柔軟に対応できる力を養います。さらに、学外・他コースとの連携授業を通して、実践的な対応力を高めます。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 <input type="radio"/>		反転授業 <input type="checkbox"/>		調査授業 <input type="checkbox"/>		フィールドワーク <input type="checkbox"/>
	双方向アンケート <input type="checkbox"/>		ペアワーク <input type="radio"/>		グループワーク <input type="radio"/>		ロールプレイ <input type="radio"/>
	プレゼンテーション <input type="radio"/>		PBL <input type="checkbox"/>		模擬授業 <input type="checkbox"/>		その他 <input type="checkbox"/>
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～6	サービス業務実習復習			① 客室実習Ⅰで学んだものをスムーズに発揮できる ② 学外の方に接客ロールプレイにて評価をもらい成長に繋げることができる ③ 適切な言葉遣い、表情コントロールができる ④ イレギュラー対応ができる ⑤ 幅広い年齢層に対応できる ⑥ 状況に応じた立居振舞ができる ⑦ グループ内で主体的にアイデアを発想できる ⑧ グループ内で協力し、サービスを組み立てることができる ⑨ ロールプレイ実習では航空専門用語を積極的に使用し対応できる		
	7～12	保安業務実習復習					
	13～20	サービス実践 イレギュラー対応					
	21～22	サービス実践 イレギュラー対応					
	23～38	LF/LA 学外連携合同実習 準備（ま・あ・る）					
	39～42	LF/LA 学外連携合同実習（ま・あ・る）					
	43～48	クレーム対応等					
	49～58	LF/LA コース外連携合同実習					
	59～60	総まとめ、授業内小テスト					
成績評価方法	平常点（20％）授業内ロールプレイ・小テスト（80％）						
使用テキスト／教材	オリジナルテキスト・「エアラインテキスト」、講師作成プリント等						
関連科目	客室実習Ⅰ						
その他	身だしなみを整えて受講すること。（女子学生はスカーフ着用必須）						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	客室英会話Ⅱ						
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース						
担当教員	阪本 知恵						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	英語で客室乗務員業務や航空機への理解をさらに深め、実務で通用する表現力を養います。加えて、英語による模擬フライトを実施し、現場を想定した実践的なコミュニケーション力を高めます。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～4	CAREER PATHS Flight Attendant Book2 3.4.5			① 客室乗務員の業務が英語で理解できる ② 航空業界で使われる表現がわかる ③ 客室実習Ⅰで学んだサービス要員、保安要員としての業務で使用する表現がわかる ④ 客室実習Ⅰで学んだ客室乗務員の業務の流れを英語で理解できる ⑤ テキストにある単語を覚え使えるようになる ⑥ 想定される機内会話の様々なパターンを知り、表現を習得する ⑦ 他学科の学生に自然な表情と所作でサービスできる ⑧ 英語アナウンスの表現を知る		
	5～8	CAREER PATHS Flight Attendant Book2 6.7.8					
	9～12	エアラインテキストP58-61					
	13～16	エアラインテキストP66-70					
	17～18	ロールプレイ練習					
	19～22	G1連携授業についての組み立て					
	23～28	G1連携授業暗記と練習準備					
	29～30	リハーサル					
	31～34	G1連携授業					
	35～38	CAREER PATHS Flight Attendant Book2 9.10.11					
	39～42	CAREER PATHS Flight Attendant Book2 12.13.14					
	43～60	CAREER PATHS Flight Attendant Book3 2.4.7.10.11.12.13.14					
成績評価方法	平常点（10％）ロールプレイ（50％）授業内小テスト（40％）						
使用テキスト ／教材	オリジナルテキスト・「エアラインテキスト」、CAREER PATHS Flight Attendant						
関連科目	客室英会話Ⅰ						
その他	事前自主学習の上、受講すること。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	客室キャリアデザインⅡ						
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース						
担当教員	阪本知恵、松永清美、小尾純子、大橋美穂子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	自身のキャリアプランを明確に持ち、それに沿って努力し続ける強い精神力を養うとともに、客室乗務員として航空業界で求められる創造力・対応力・精神力に加え、相手に的確に思いを伝える表現力を身につけることを目指します。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	企業が求める人材像の理解と自己分析					
	3～8	模擬面接：企業別対策			① 自己分析に基づき長所をアピールできる		
	9～14	模擬面接：グループディスカッション			② 企業が求める人材像を理解する		
	15～16	社会人の学びとキャリアプラン・夏休み課題指示			③ 感じの良い会話が続けられる		
	17～18	心身の健康を保つ① 体力・筋力・食事			④ 表現力を高め、課題に対してのプレゼンテーションができる		
	19～20	夏休み課題FB・会話力を上げる①			⑤ 心身の健康を保つ方法を理解する		
	21～22	会話力を上げる②・客室乗務員のキャリアパス			⑥ 客室乗務員のキャリアパスを理解し自身のキャリアプランを考えられる		
	23～24	心身の健康を保つ② 自律神経ケア			⑦ TEAM力向上のためのコミュニケーションを理解する		
	25～28	就職体験談プレゼンテーション準備			⑧ 社会人としての学びの意味と方法を理解する		
	29～30	(LF1連携) 就職体験談プレゼンテーション			⑨ タイムプレッシャーに強くなる		
成績評価方法	平常点（20％）プレゼンテーション・製作物（50％）提出物（30％）						
使用テキスト ／教材	オリジナルテキスト・「面接」、一日一行・講師作成プリント						
関連科目	客室キャリアデザインⅠ、エアライン筆記対策、FA面接						
その他							